

2021年度
公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
第37回総会
議案書

開催場所：株式会社復建技術コンサルタント 会議室

開催日時：2021年5月14日（金） 15時30分～17時00分

議事次第

1. 開 会
2. 支部長挨拶
3. 議 事
 - 第一号議案 2020年度事業報告
 - 第二号議案 2020年度収支決算報告及び監査報告
 - 第三号議案 2021年度事業計画（案）
 - 第四号議案 2021年度収支予算（案）
 - その他
 - 報告事項ほか
4. 閉 会

○ 第一号議案 2020 年度事業報告

(1) 支部総会・シンポジウム

<支部総会> コロナウイルス感染予防のためオンライン開催

*定足数 85 名(会員数 169 名の 1/2 以上)を満たし総会は成立

- ① 日 時 2020 年 5 月 15 日 16:00~17:30
- ② 場 所 株式会社復建技術コンサルタント 会議室 (リモート参加 8 名・委任状 80 名)
- ③ 議 事 第一号議案 2019 年度事業報告
第二号議案 2019 年度収支決算報告及び監査報告
第三号議案 2020 年度事業計画 (案)
第四号議案 2020 年度収支予算 (案)
第五号議案 役員改選の件 (案)
その他・報告事項

<シンポジウム・意見交換会> コロナウイルス感染予防のため中止

(2) 会議等

① 役員会

- ・第 1 回役員会 (2020 年 4 月 1 日 東北支部事務局会議室・リモート 8 名)
2020 年度総会議案書(案)及び事業計画・予算案等に関する協議
- ・第 2 回役員会 (2020 年 11 月 6 日 東北支部事務局会議室・リモート 8 名)
今後の事業計画及びアウトリーチ連絡会担当、会員数対策担当の人選、
砂防学会東北支部との連携に関する協議ほか
- ・第 3 回役員会 (2021 年 3 月 8 日 東北支部事務局会議室・リモート 20 名)
2020 年度事業報告・収支決算(案)、2021 年度事業計画・予算(案)ほかに関する協議

② 幹事会

- ・第 1 回幹事会 (2020 年 6 月 18 日 東北支部会議室・リモート 14 名)
シンポジウム及びコロキウムの開催計画、その他支部事業に関する協議
- ・第 2 回幹事会 (2021 年 3 月 8 日 東北支部事務局会議室・リモート 20 名)
2021 年度シンポジウム・コロキウム研修会、地すべり現地検討会開催に関する協議

③ 運営委員会 (2021 年 3 月 27 日 メールによる議案書の送付)

2020 年度事業報告及び決算 (案) 及び 2021 年度事業計画及び予算 (案) の審議

(3) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」の開催 (事業企画委員会)

○趣 旨 支部若手会員の技術的交流の場として分科会活動を継続、拡大し、学会等での発表
や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、支部の会勢拡大に
繋げる。

○第 1 回: 2020 年 9 月 16 日 支部シンポジウムを兼ねオンライン開催 参加 96 名 (CPD3.5)

テ ー マ: 「地すべりに関する地下水の関与について」

基調講演: 「地すべり指標としての地下水水質の可能性」九州大学名誉教授 吉村 和久 氏

話題提供: 「水質に基づく地すべり地への地下水供給機構の検討事例 (PHREEQC 活用例)」

(同) 水文企画 渡邊 修 氏

「スメクタイトの生成場と地すべり」

国土防災技術(株) 柴崎 達也 氏

- 第2回：2020年12月22日 オンライン研修として開催 参加106名（CPD2.5）
 話題提供：「2019年台風19号による宮城県丸森町における斜面崩壊発生場の分布特性」
 奥山ボーリング(株) 林一成氏
 「タンクモデルと質点系ダンパーモデルを用いた
 コスタニェック地すべりの長期移動予測解析」
 (株)アドバンテクノロジー 濱崎英作氏
 「New-SlopeRBSM3Dによる銅山川地すべりの移動方向解析」
 国土防災技術(株) 高橋康平氏
 「空中写真判読技術は終わった技術か？」
 山形大学 八木浩司氏
- 第3回：2021年2月22日 オンライン研修として開催 参加118名（CPD2.5）
 話題提供：「高密度電気探査を用いた津軽十二湖成因の検証：青池付近を例として」
 弘前大学農学生命科学部助教 鄒青穎氏
 「樹木年輪年代学的手法による地すべり変動履歴の検討
 ー白神山地大川流域における地すべり地を対象として」
 北海道大学 野口絹子氏
 「攻撃斜面における地すべりの活動要因
 ー秋田県小湊地すべり及び崩ヶ沢地すべりを主な事例として」
 奥山ボーリング(株) 高堂陶子氏
 「長野県長久保地すべりの硬質炭酸カルシウムスケールの観察」
 国土防災技術(株) 神野郁美氏



<Web 研修会の様子>

(4) 東北支部地すべり現地検討会（巡検計画委員会）

- *秋田県由利本荘市「崩ヶ沢地すべり」
- *コロナウイルス感染予防の観点から中止した。

(5) 災害調査派遣（巡検計画委員会）

2021年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震を誘因とし二本松市で発生した地すべり災害に対して、北海道支部及び関東支部と合同で現地調査を行った。東北支部からは八木浩司前支部長ほか5名が参加した。

調査結果についてはとりまとめが終わり次第学会誌等で報告する予定である。

(6) 広報活動等（広報委員会）

① 講師派遣

- ・ 秋田県建設部主催「測量実習及び調査・設計研修会」（2020年7月15～16日）
奥山ボーリング（株）藤井 登氏、大村 泰氏
- ・ 宮城県砂防ボランティア協会主催研修会（2020年11月20日）
（株）復建技術コンサルタント 押見和義氏

② 支部だより第31号の発行（2020年12月20日） 印刷部数245部、発送部数245部

③ 支部ホームページの更新、情報発信

- ・ 各種事業案内・参加募集、委員会活動報告、支部行事等の掲載など

(7) 関連団体との連携・地域貢献

① 「2019年台風第19号災害に関する東北学術調査団」への参画

- ・ (公社)土木学会長北支部、(公社)地盤工学会東北支部、東北大学災害科学国際研究所
- ・ 最終報告会（オンライン開催、2020年12月20日）において大河原正文支部長が報告

② (一社)斜面防災対策技術協会

- ・ 地すべり防止工事士更新講習会講師 大河原正文支部長
- ・ 機関紙「山が動く」への投稿 濱崎英作氏、林 一成氏

(公社)日本地すべり学会

東北支部だより

vol.
31

東北支部事務局

〒980-0012
仙台市青葉区錦町1丁目7番25号
株式会社復建技術コンサルタント内
担当:大澤、羽生 ☎022-262-1234



ご挨拶

東北支部長
大河原 正文

(岩手大学 理工学部
システム創成工学科 准教授)

日本地すべり学会東北支部は1985年の設立から本年度で35周年を迎えました。公益社団法人として、これまで斜面関連の学術及び技術の振興ならびに地域社会の健全な発展に貢献することを使命として活動してきました。これもひとえに支部会員の皆様はじめ官、民、学などの多くの方々のご支援の賜物とお礼申し上げます。

また、これまで支部活動にご尽力いただいた金子和亮副支部長が任期満了となり、役員会での承認を得て新しく副支部長に高見智之氏(国際航業株)が就任されました。金子氏には2016年度から2期4年間に亘り支部を支えていただき感謝申し上げますとともに、今後は運営委員としてご指導賜りますようお願いいたします。

さて、本年は35周年という記念すべき年ではありますが、ご存知のとおり、新型コロナウイルスの影響を受け、東京オリンピックをはじめとする様々な行事が延期もしくは中止となっております。テレワーク、オンライン会議、ソーシャルディスタンスといった言葉にあるように仕事、生活の在り方が大きく変わり、いわゆる“新しい生活様式”を試行する日々が続いております。東北支部においても同様で、感染リスク回避から各種行事を延期もしくは中止せざるを得ない状況が続いております。

5月の「総会」は学会本部の取り決めに従い、数名の役員だけ事務局に集まりオンライン方式での開催となりました。具体的には、委任状により定足数を確保し、議案については書面決議としました。例年、総会と同時間開催していた「シンポジウム」は、大人数を対象としたオンライン開催の経験がないため円滑な進行を保証できないことから、やむなく中止としました。支部行事の目玉のひとつである「現地検討会」は、秋田県の崩け沢地すべりを対象に開催を予定しておりましたが、宿泊を伴うこともあり今年度は中止になりました。なお、来年度、同じ崩け沢地すべりを対象に実施予定であること申し添えます。このように今年度は、多くの事業の中止もしくは延期されることから支部協賛金を半分に減額しております。

新型コロナウイルスの第2波の余韻が残るなか、オンラインで役員会、幹事会を開催し、今後の活動の在り方について議論しました。そのなかで支部会員への継続教育は重要であり、コロナ禍であっても実施方法を工夫するなどして教育活動は行うべきとの意見が大勢を占めました。また、研修会や講習会が減少し

CPDポイントを取得するための機会が減少していることから、初めて「CPDポイント付きのオンライン研修会」を開催しました。「地すべりにおける地下水の関与」をテーマに九州大学名誉教授の吉村和久先生、渡邊修氏(同)水文企画)、柴崎達也氏(国土防災技術株)に講師を務めていただき、おかげさまで106名の方々に受講いただくなど盛況であったことは何よりの朗報となりました。研修会後のアンケートによると、オンライン方式での開催について、「わざわざ会場に足を運ばなくてもよく、時間と交通費の節約になる」「周囲の視線を気にすることなく気軽に参加できる」など概ね肯定的な意見が多かったようです。会議の時間短縮や効率化が指摘されておりますが、会議のみならず研修会、講習会などもオンラインでの開催が今後ますます重要な手段のひとつになると思います。

また、11月20日には、昨年10月に発生した台風第19号の合同調査団「最終報告会」がオンラインで開催されました。支部だよりNo.30でお知らせしたとおり本合同調査団は、日本地すべり学会、土木学会、地盤工学会の各東北支部と東北大学災害科学国際研究所により構成される最大規模の災害調査団です。土砂災害はじめ河川氾濫、内水氾濫、堤防、橋梁、ダム、避難状況分析、経済関連、道路や鉄道に関わる地盤災害、造成地被害、堤防決壊メカニズム、さらには避難所・行政対応分析、メディア分析、ボランティア動向、災害医学、メディア対応支援など、広範囲の事象を調査対象としております。最終報告会には、130名を超える多くの方々にWeb登録いただいたほか、マスコミ各社が出席するなど、頻発する台風や豪雨災害への社会の関心の高さを伺う機会にもなりました。我々地すべり学会東北支部は、宮城県と岩手県で発生した土石流や斜面崩壊に関する調査結果を報告するとともに、調査結果が行政の災害復旧対策に生かされた事例を紹介しました。幸いにも今年度は、東北地方に甚大な被害をもたらす自然災害は発生していませんが、各種統計によると豪雨が増加していることは間違いなく、いつどこで土砂災害などの自然災害が発生してもおかしくない状況にあります。今後も学会が連携して広範囲な災害事象に対応することの重要性は増し、我々東北支部が合同調査団の一翼を担ったことは、今後の調査活動の在り方を模索する上で重要な意味をもつと考えております。年明けには砂防学会東北支部との斜面コロキウム活動を通しての相互協力も予定されております。ほとんどの行事が延期もしくは遠隔となっているなか、明るい話題として、現在、山形大学の八木教授を中心に地形情報に基づく危険度評価に関するガイドブックの刊行が進められております。会員皆様にご有益なガイドブックになりますのでどうぞご期待下さい。

最後になりますが、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後とも東北支部の活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主な行事予定

■支部開催事業

- * 2021年度(公社)日本地すべり学会東北支部
総会・シンポジウム
日 程：2021年4月上旬(予定)
場 所：仙台市内(仙台市戦災復興記念館ホール 予定)
- * 東北支部地すべり現地検討会
日 程：2021年9月中旬～10月中旬(予定)
場 所：秋田県由利本荘市「崩け沢地すべり」(予定)

* 各事業は新型コロナウイルスの感染状況を見て開催の可否、形態などを判断して計画します。

■本部開催事業

- * 2021年度(公社)日本地すべり学会 社員総会・シンポジウム
日 程：検討中
場 所：検討中
- * (公社)日本地すべり学会 第78回(2021年度)研究発表会及び現地見学会
日 程：2021年9月14日(火)～17日(金)
場 所：北海道札幌市「札幌市教育文化会館」(予定)
- * 最近の土砂災害報告会
詳細は未定

1

<支部だより 第31号 : 大河原支部長挨拶>

○ 第二号議案 2020年度収支決算

(その1)

【収益】				2020年度 予算 b	2020年度 決算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	小科目	勘定科目 細目				
支部収益				300,010	320,019	20,009	
	事業収益			0	0	0	
		シンポジウム収益		0	0	0	コロナの影響による中止
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	0	0	
		現地検討会収益		0	0	0	コロナの影響による中止
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	0	0	
		技術講習会収益		0	0	0	
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	0	0	
		出版収益		0	0	0	
			会誌頒布	0	0	0	
			その他の出版	0	0	0	
	協賛・寄付			300,000	320,000	20,000	
		協賛金		300,000	320,000	20,000	32社×1万
		寄付金		0	0	0	
	雑収益			0	0	0	
	受取利息			10	19	9	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				300,010	320,019	20,009	
【費用】							
大科目	中科目	小科目	勘定科目 細目	2020年度 予算 b	2020年度 決算 a	増減 a-b	備 考
支部費用				1,189,000	406,456	-782,544	
	事業費			831,000	197,508	-633,492	
		シンポジウム会費		0	0	0	コロナの影響による中止
			印刷製本費	0	0	0	
			会場費(会場使用料)	0	0	0	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	0	0	0	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	0	0	0	
			支払手数料	0	0	0	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
			雑費	0	0	0	
		現地検討会費		0	0	0	コロナの影響による中止
			印刷製本費	0	0	0	
			会場費(会場使用料)	0	0	0	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	0	0	0	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	0	0	0	
			支払保険料	0	0	0	
			支払手数料	0	0	0	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
			外注費	0	0	0	
			雑費	0	0	0	

(その2)

【費用】				2020年度 予算 b	2020年度 決算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	小科目	勘定科目 細目				
			技術講習会費	120,000	0	-120,000	次世代コロキウム
			印刷製本費	5,000	0	-5,000	
			会場費(会場使用料)	10,000	0	-10,000	
			会議費(意見交換会含む)	50,000	0	-50,000	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	50,000	0	-50,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	0	0	0	
			支払手数料	0	0	0	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	0	-5,000	
			外注費	0	0	0	
			雑費	0	0	0	
			※その他の事業活動(上記の3つ以外)	711,000	197,508	-513,492	2019年度実績 348,158
			印刷製本費	200,000	171,402	-28,598	支部だより印刷費
			会場費(会場使用料)	20,000	0	-20,000	
			会議費(意見交換会含む)	30,000	0	-30,000	
			広告宣伝費	0	0	0	
			パート・アルバイト代	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	20,000	0	-20,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	30,000	24,566	-5,434	支部だより発送費
			情報システム費(HP関係など)	0	0	0	
			支払手数料	1,000	1,540	540	
			消耗品	0	0	0	
			備品	0	0	0	
			外注費	0	0	0	
			支払保険料	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
			賞金・賞品(副賞や感謝状など)	10,000	0	-10,000	
			雑費	0	0	0	
			その他	400,000	0	-400,000	35周年事業の出版費2021年度へ
	管理費			358,000	208,948	-149,052	2019年度実績 238,742
			給与・手当	0	0	0	
			パート給与	0	0	0	
			アルバイト給与	0	0	0	
			会場費	10,000	0	-10,000	
			会議費	60,000	0	-60,000	
			支部総会費	20,000	0	-20,000	Webによる
			幹事会・運営委員会	40,000	0	-40,000	Webによる
			印刷製本費	10,000	0	-10,000	
			旅費交通費	50,000	0	-50,000	
			借料	0	0	0	
			通信運搬費	5,000	4,344	-656	
			消耗品(事務用品費)	40,000	53,174	13,174	封筒代、ヘルメット等補充
			備品	30,000	0	-30,000	
			外注費	150,000	150,000	0	事務委託費
			支払手数料	2,000	770	-1,230	
			雑費	1,000	660	-340	残高証明費用
			当期費用合計(B)	1,189,000	406,456	-782,544	
			当期収支差額(C=A-B)	-888,990	-86,437	802,553	
			前期未収入金			0	
			当期未収入金		31,581		2020年度若手育成事業
			前期未払い金			0	
			当期前払金			0	
			前期前払金		18,100	18,100	2020総会会場キャンセル払い戻し
			前期繰越額(D)	1,806,546	1,806,546	0	
			次期繰越額(D+C)	917,556	1,706,628	789,072	

(監査報告)

監査報告書（東北支部）

2021年4月1日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 平松 晋也 殿

監事 渋谷 保 

監事 橋本 修一 

2020年4月1日から2021年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

○ 第三号議案 2021年度事業計画（案）

(1) 支部総会・シンポジウム

<支部総会>

*コロナウイルス感染防止のため書面決議とし、役員の出席と委任状により開催する。

- ① 日 時 2021年5月14日 15:30～17:00
- ② 場 所 (株)復建技術コンサルタント会議室・リモート開催
- ③ 議 事 第一号議案 2020年度事業報告
第二号議案 2020年度収支決算及び監査報告
第三号議案 2021年度事業計画（案）
第四号議案 2021年度収支予算（案）
その他・報告事項

<シンポジウム>

*コロナウイルス感染防止のためオンライン開催とする。

- ① 日 時 2021年6月中旬～下旬（予定）
- ② 場 所 東北支部事務局・オンライン
- ③ テーマ 「(仮) 東北地方の地震と地すべり」（予定）

(2) 東北支部活動

① 役員会

- ・2021年6月、2022年1月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
- ・支部事業の運営及び実施状況等に関する協議等

② 幹事会・拡大幹事会

- ・2021年6月、10月、2022年2月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
- ・各種支部事業の計画立案、運営等に関する協議等

③ 運営委員会

- ・2022年3月に予定
- ・2021年度事業報告・収支決算及び2022年度事業計画・予算（案）の審議

④ 各委員会：事業企画、巡検計画、広報、書籍編集

- ・事業実行に応じて随時開催

(3) 若手育成事業「斜面変動研究の次世代コロキウム」の継続（事業企画委員会）

① 趣 旨

支部若手会員の技術的交流の場として、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、広く支部会員の参加を呼びかけ会勢拡大に繋げていく。本部の「若手対策費支出事業」を活用する予定である。

② 分科会：攻撃斜面、キャップロック地すべり、地下水検層、応用地形判読

- ・各分科会毎に研究、発表を行い議論を深める。
- ・本部分科会などへの積極的な参加や学会誌への寄稿を促す。

③ 実施要領

- ・コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、少人数での対面開催やオンライン開催とする。
- ・参加人数は20名程度とし、参加については随時会員に広く公募する。

(4) オンライン研修会の開催（事業企画委員会）

- ・砂防学会東北支部と連携を取りながら相互に話題提供を行う。
- ・コロキウムの研究発表の場を提供する。
- ・参加者は随時会員に広く公募する。

(5) 継続的な現地調査・研究の検討（事業企画委員会・巡検計画委員会）

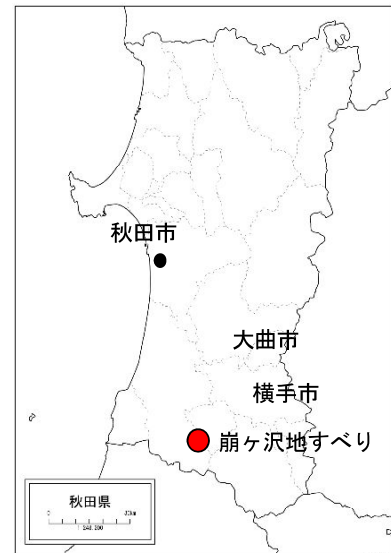
- ・地すべり地における継続的な現地調査や研究を行うための研究フィールドを検討し、若手を含む会員の地すべり調査技術の向上や研究テーマの提供の可能性を企画、検討する。

(6) 地すべり現地検討会の開催（巡検計画委員会）

- ① 場 所 秋田県由利本荘市「崩ヶ沢地すべり」(宿泊なし)
- ② 時 期 2021年10月上旬～中旬
- ③ テーマ(案) 「再活動する岩盤地すべりの発生機構と対策」
- ④ 募集人員 定員45～50人程度
- ⑤ 現場視察は少人数班編成でいくつかの巡検コースパターンを設定し、密を避ける工夫をする。
- ⑥ 検討会は後日オンラインで開催し、班ごとの検討結果を発表し検討する。



<検討会計画位置図>



(7) 災害調査派遣（巡検計画委員会）

- ① 調査に値する災害情報が提供された場合は、本部「土砂災害緊急調査内規」に準じて調査派遣を検討、実施する。→オブザーバーとの連携・情報収集、他学会・協会等と連携
- ② 調査目的と成果の明確化を図り、本部とも連携して実施する。
- ③ 調査後は報告書にまとめ提出するほか、ホームページなどで会員に広く広報する。

(8) 社会貢献・会勢活動 (各委員会)

- ① 斜面防災のリスクの再認識を促し、コミュニティの自助・共助の重要性などについての啓蒙・普及・研修に関する活動を計画する。
- ② 各委員会と連携し各種団体への出前講座や出張授業等(アウトリーチ活動)を積極的に推進し宣伝活動を行う。
- ③ 会勢拡大を目的に研修会などを開催し会員数の増加を目指す。
 - ・シンポジウムや勉強会のオンライン開催などで他学会や協会と連携を図る。

(9) 他学協会との交流活動 (各委員会)

- ① 協賛団体、関連団体・学会との情報共有を推進する。

斜面防災対策技術協会東北支部 全国地質調査業協会連合会 東北地質調査業協会
砂防学会東北支部 土木学会東北支部 応用地質学会東北支部 地盤工学会東北支部など
- ② 関連協会への現地検討会参加による相互の意見交換と技術交流を図る。
- ③ 災害調査における連携
 - ・関連学協会との合同調査に対して積極的な対応を推進する。

(10) 広報活動 (広報委員会)

- ① 支部だより第32号の発行(2021年12月の予定)
 - ・支部会員、協賛団体及び企業への学会活動の情報提供
 - ・支部行事、委員会活動の報告、支部ホームページにも掲載
- ② 支部ホームページの更新、情報発信
 - ・支部会員リストを利用した各種事業報告ならびに事業開催案内・参加募集等
- ③ 会勢拡大活動
 - ・アウトリーチ連絡会との連携を図り、講師派遣や市民向け勉強会などを通じた支部事業の宣伝活動
 - ・会員数対策連絡会と連携して支部会員獲得に向けた活動
 - ・「地すべり調査・設計に関する技術講座」の開催立案

(11) 書籍発刊

- ① 趣旨 東北支部設立35周年事業として、支部で行ってきた地すべりを理解しその知識を防災・減災に役立てるため、地すべり地形を含む斜面の地形形成プロセスや安定度を、地形判読を利用して、地すべりの危険度を評価する研究を行ってきた成果を、斜面災害危険度評価のガイドブックとしてまとめ、一般に広く周知し利用してもらうことを目的に発刊する。
- ② 書籍名称 「防災のための地すべり地形の読み解き方ー斜面災害危険度評価ガイドブック」
- ③ 出版時期 朝倉書店より2021年度末に発刊予定

○ 第四号議案 2021年度収支予算(案)

(その1)

【収益】				2020年度 予算 b	2021年度 予算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				300,010	530,050	230,040	
	事業収益			0	210,000	210,000	
		シンポジウム収益		0	0	0	Webによる開催
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	0	0	
			会場予約払い戻し	0	0	0	
		現地検討会収益		0	160,000	160,000	現地開催、討論会はWebによる開催
			参加費	0	160,000	160,000	4,000×40名
			意見交換会費	0	0	0	
		技術講習会収益		0	50,000	50,000	若手育成事業(次世代コロキウム)
			参加費	0	50,000	50,000	
			意見交換会費	0	0	0	
		出版収益		0	0	0	
			会誌頒布	0	0	0	
			その他の出版	0	0	0	
	協賛・寄付			300,000	320,000	20,000	
		協賛金		300,000	320,000	20,000	32社×1万(2019年度以前2万)
		寄付金		0	0	0	
	雑収益			0	0	0	
	受取利息			10	50	40	
本部仮払金(下記に内訳を記載)				0	0	0	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				300,010	530,050	230,040	
【費用】				2020年度 予算 b	2021年度 予算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用				1,189,000	1,440,000	251,000	
	事業費			831,000	1,052,000	221,000	
		シンポジウム会費		0	71,000	71,000	Webによる開催
			印刷製本費	0	0	0	
			会場費(会場使用料)	0	0	0	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	0	50,000	50,000	
			旅費交通費	0	10,000	10,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	0	5,000	5,000	
			支払手数料	0	1,000	1,000	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	5,000	5,000	
			雑費	0	0	0	
		現地検討会費		0	220,000	220,000	現地開催、討論会はWebによる開催
			印刷製本費	0	0	0	
			会場費(会場使用料)	0	30,000	30,000	現地拠点会場費
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	0	100,000	100,000	関係機関との事前協議
			借料(バス・レンタカー代)	0	50,000	50,000	
			通信運搬費	0	5,000	5,000	
			支払保険料	0	8,000	8,000	傷害保険等
			支払手数料	0	2,000	2,000	
			消耗品	0	20,000	20,000	フェイスガード等、安全・衛生費
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	5,000	5,000	
			外注費	0	0	0	
			雑費	0	0	0	

(その2)

【費用】				2020年度 予算 b	2021年度 予算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用				120,000	60,000	-60,000	
		技術講習会費		120,000	60,000	-60,000	若手育成事業(次世代コロキウム)
			印刷製本費	5,000	5,000	0	
			会場費(会場使用料)	10,000	10,000	0	
			会議費(意見交換会含む)	50,000	0	-50,000	
			諸謝金	0	30,000	30,000	
			旅費交通費	50,000	0	-50,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	0	0	0	
			支払手数料	0	0	0	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	15,000	10,000	
			外注費	0	0	0	
			雑費	0	0	0	
		※その他の事業活動(上記の3つ以外)		711,000	701,000	-10,000	2020年度実績 193,438
			印刷製本費	200,000	200,000	0	支部だより印刷費
			会場費(会場使用料)	20,000	20,000	0	社会貢献・緊急調査等の会場費
			会議費(意見交換会含む)	30,000	30,000	0	
			広告宣伝費	0	0	0	
			パート・アルバイト代	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	20,000	20,000	0	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	30,000	20,000	-10,000	2020年度実績 20,496
			情報システム費(HP関係など)	0	0	0	
			支払手数料	1,000	1,000	0	
			消耗品	0	0	0	
			備品	0	0	0	
			外注費	0	0	0	
			支払保険料	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
			賞金・賞品(副賞や感謝状など)	10,000	10,000	0	
			雑費	0	0	0	
			その他	400,000	400,000	0	35周年事業の出版費
	管理費			358,000	388,000	30,000	2020年度実績 208,948
		給与・手当		0	0	0	
			パート給与	0	0	0	
			アルバイト給与	0	0	0	
		会場費		10,000	0	-10,000	
		会議費		60,000	50,000	-10,000	
			支部総会費	20,000	0	-20,000	Webによる
			幹事会・運営委員会	40,000	50,000	10,000	
		印刷製本費		10,000	10,000	0	
		旅費交通費		50,000	50,000	0	
		借料		0	0	0	
		通信運搬費		5,000	5,000	0	
		消耗品(事務用品費)		40,000	40,000	0	封筒代
		備品		30,000	30,000	0	ヘルメット等補充
		外注費		150,000	200,000	50,000	事務委託費
		支払手数料		2,000	2,000	0	
		雑費		1,000	1,000	0	残高証明費用
当期費用合計(B)				1,189,000	1,440,000	251,000	
当期収支差額(C=A-B)				-888,990	-909,950	-20,960	
前期未払い金				0	0	0	
当期前払金				0	0	0	
前期繰越額(D)				1,806,546	1,710,698	-95,848	
次期繰越額(D+C)				917,556	800,748	-116,808	

○ その他

(1) 代議員選挙結果について

2021～2022年度の代議員選挙の結果、下記の方々が代議員として選出されました。

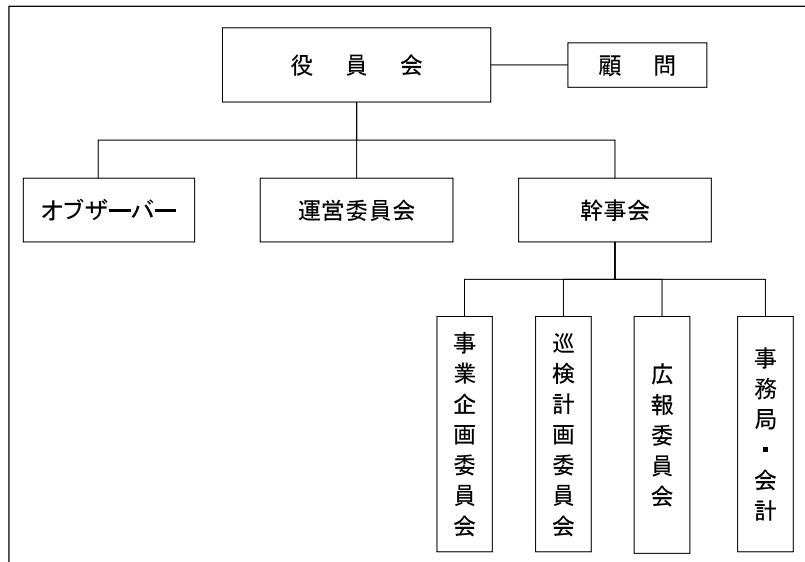
池田 浩二	イケダ コウジ	株式会社東北開発コンサルタント
石川 晴和	イシカワ ハルハ	株式会社アドバンテクノロジー
大澤 宏明	オオサワ ヒロアキ	株式会社復建技術コンサルタント
大村 泰	オムラ ヲシ	奥山ボーリング株式会社
三瓶 和法	サンペイ カズノリ	国土防災技術株式会社
鄒 青穎	ヅウ シンイン	弘前大学
森口 周二	モリグチ シュウジ	東北大学
山田 知寛	ヤマダ トモヒロ	日本工営株式会社
渡辺 修	ワタナベ オサム	合同会社水文企画

(2) 協賛金について

支部運営は協賛各団体からの協賛金によって運営されております。総会后より3ヶ月以内でのお振り込みをお願いします。また、協賛を頂いた団体・企業については「支部だより」に掲載させていただきます。また、協賛団体に所属している職員の皆様は、支部会員(正会員)でなくとも各種支部開催事業(シンポジウム、現地検討会など)に参加することができます。

今年度の協賛金はコロナ禍で事業実施が不透明なところもありますので、暫定として昨年同様に1万円とさせていただきます。振り込みのご案内は、総会后に事務局よりご連絡しますので、よろしくお願いいたします。

(3) 支部組織



① 役員・運営委員・オブザーバー

顧問	盛合 禧夫	東北工業大学名誉教授
支部長	大河原 正文	岩手大学理工学部准教授
副支部長	高見 智之	国際航業（株）東北支社技術部長
監事	渋谷 保 橋本 修一	日特建設（株）東北支店技術部長 （株）東北開発コンサルタント専門役
運営委員	1 井良 沢 道也 2 梅 村 順 3 八 木 浩 司 4 大 月 義 徳 5 奥 山 武 彦 6 千 葉 則 行 7 檜 垣 大 助 8 宮 城 豊 彦 9 阿 部 真 郎 10 三 瓶 和 法 11 森 一 司 12 熊 谷 茂 一 13 近 藤 敏 光 14 八 鍬 健 15 三 上 登 志 男 16 濱 崎 英 作 17 荻 田 茂 18 山 科 真 一 19 鄒 青 穎 20 山 浦 昌 之 21 武 田 茂 典 22 新 田 雅 樹 23 金 子 和 亮	岩手大学農学部教授 日本大学工学部専任講師 山形大学地域教育文化学部教授 東北大学大学院理学研究科助教 山形大学農学部教授 東北工業大学名誉教授 弘前大学名誉教授 東北学院大学名誉教授 奥山ボーリング（株）顧問 国土防災技術（株）福島支店管理課長 （株）システムプランニング技術顧問 （一社）斜面防災対策技術協会 東北支部長 国際航業（株）東北統括部国土保全G担当部長 （株）日さく仙台支店長 （株）復建技術コンサルタント技師長 （株）アドバンテクノロジー社長 奥山ボーリング（株）技術部長 国土防災技術（株）東日本地域統括部長 弘前大学農学生命科学部助教 （株）ダイヤコンサルタント東北支社支社長 基礎地盤コンサルタント（株）東北支社技術統括部長 応用地質（株）社会インフラ事業部技術部長 日本工営（株）仙台支店副技師長
オブザーバー	1 国土交通省東北地方整備局河川計画課課長 2 国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所所長 3 農林水産省東北農政局農村振興部農村環境課地質官 4 農林水産省東北農政局農村振興部防災課課長 5 林野庁東北森林管理局計画保全部治山課課長 6 青森県県土整備部河川砂防課課長 7 " 農林水産部農村整備課課長 8 " 農林水産部林政課課長 9 秋田県建設部河川砂防課課長 10 " 農林水産部森林整備課課長 11 " 農林水産部農地整備課課長 12 岩手県県土整備部砂防災害課総括課長 13 " 農林水産部農村建設課総括課長 14 " 農林水産部森林保全課総括課長 15 宮城県土木部防災砂防課課長 16 " 農林水産部農村整備課課長 17 " 水産林政部森林整備課課長 18 山形県県土整備部砂防・災害対策課課長 19 " 農林水産部森林ノミクス推進課課長 20 " 農林水産部農村整備課課長 21 福島県土木部砂防課課長 22 " 農林水産部森林保全課課長 23 " 農林水産部農村基盤整備課課長 24 東日本高速道路（株）東北支社技術企画課課長 25 東日本旅客鉄道（株）仙台支社工事課課長 26 東北電力（株）土木建築部土木建築業務課課長	

② 幹事

区分	委員会	氏名	所属
幹事長		瀬野孝浩	(株)新東京ジオ・システム
副幹事長	事業企画	渡辺 修	(同)水文企画
	巡検計画	三嶋昭二	応用地質(株)
	広報	大村 泰	奥山ボーリング(株)
幹事	事業企画	増田由紀子	日特建設(株)
		押見和義	(株)復建技術コンサルタント
		新田邦弘	地質基礎工業(株)
		西 俊憲	基礎地盤コンサルタンツ(株)
		小林基比古	日本工営(株)
		高橋康平	国土防災技術(株)
	巡検計画	工藤唯志	日本工営(株)
		伊藤靖雄	(株)ダイヤコンサルタント
		石川恵司	(株)日さく
		西尾克人	国土防災技術(株)
		細谷健介	新和設計(株)
	広報	石川晴和	(株)アドバンテクノロジー
		黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ
		池田浩二	(株)東北開発コンサルタント
		中臺直之	(株)新東京ジオ・システム
	会計・事務局	大澤宏明	(株)復建技術コンサルタント

名 称	実行内容
事業企画委員会	支部総会・シンポジウム、社会貢献・会勢拡大活動、他学会・協会との交流活動についての企画・運営、斜面変動コロキウムの実行
巡検計画委員会	地すべり現地検討会の企画・開催、災害時の調査団派遣検討及び調査報告書の作成
広報委員会	支部活動に関わる情報提供や広報活動、支部HP運営・管理、メール配信及び支部だよりの作成・配布

○ 報告事項ほか

■本部開催事業

(1) 2021年度(公社)日本地すべり学会社員総会

- ① 場 所 未定(選定中)
- ② 日 程 2021年6月11日(金) (人数を制限した集合形式で開催予定)

(2) 2021年度(公社)日本地すべり学会シンポジウム

- ① 場 所 オンラインで開催
- ② テーマ 「地すべりと地質—地質学で地すべりを解剖する—」
- ③ 日 程 2021年6月25日(金)
- ④ プログラム
 - 「地すべり・斜面災害と地質」 千木良雅弘(公益財団法人 深田地質研究所)
 - 「付加体のテクトニック・ノンテクトニック構造と地すべり」
横山俊治(公益財団法人 深田地質研究所)
 - 「テフラ・火山岩地域の地すべり・斜面崩壊」 田近淳(株式会社 ドーコン)
 - 「第三紀堆積岩地域における地すべり・斜面崩壊」
渡部直喜(新潟大学 災害・復興科学研究所)
 - 「最近の地すべり・斜面崩壊における地質調査技術」 永田秀尚(有限会社 風水土)
 - 総合討論

(3) 2021年度(公社)日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会

- ① 場 所 オンラインで開催予定(現地検討会も含む)
- ② 日 程 2021年9月15日~9月16日(予定)
- ③ 申込期限 学会HP 大会 Web ページより申込み

(4) 災害調査報告会

*詳細は未定

■連絡会の設置

2020年度第三回理事会において学会のアウトリーチ活動の在り方が審議され、本部と連携して進める目的で、各支部にアウトリーチ連絡会担当を置くことになり、学会全体としての進め方を検討していくことになりました。また、会員数対策も連絡会を設置し並行して進めることになり、それぞれ以下の担当を決め今後連携していくことになりました。

アウトリーチ連絡会担当 黒墨 秀行 ((株)総合土木コンサルタンツ)
会員数対策担当 瀬野 孝浩 ((株)新東京ジオ・システム)

2020年度東北支部協賛団体（32社）

一般社団法人 斜面防災対策技術協会東北支部
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支社
株式会社アドバンテクノロジー
応用地質株式会社 東北事務所
奥山ボーリング株式会社
川崎地質株式会社 北日本支社
基礎地盤コンサルタンツ株式会社 東北支社
株式会社計測技研
国際航業株式会社 東北支社
国土防災技術株式会社 東北支社
株式会社新東京ジオ・システム
合同会社水文企画
株式会社総合土木コンサルタンツ
株式会社測商技研 秋田支店
株式会社ダイヤコンサルタント 東北支社
株式会社地質基礎
中央開発株式会社 東北支店
株式会社テクノ長谷
東光計測株式会社
東邦技術株式会社
東北ボーリング株式会社
土木地質株式会社
日栄地質測量設計株式会社
株式会社日さく 仙台支店
日鉄鉦コンサルタント株式会社 東北支店
日特建設株式会社 東北支店
日本基礎技術株式会社 東北支店
日本工営株式会社 仙台支店
株式会社平野組
株式会社復建技術コンサルタント
株式会社北杜地質センター
ライト工業株式会社 東北総括支店